

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

99/09/27 Vol. 12 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 11 年度第 3 回定例会報告 (2)

無事に皆様のご協力により定例議会を終了いたしました。
今回は前回と引き続き定例会報告を行って行きたいと思います。

9/6 (月曜日) に、個人質問に立ちました。(2)

3. 牧の原駅圏の活性化について

(質問内容)

北口商店街の核施設名と竣工までの具体的なスケジュールについて教えてください。

(回答/総務部長) 牧の原駅圏の活性化については、市としては千葉ニュータウン事業の推進に関わる重要な課題であると認識している。この為、牧の原駅北口にオフィス、飲食、小規模物販店等の入居する暫定複合施設を計画しており、現在平成 12 年度の開業を目標に入居テナントに関する意向を調査と整備の為、諸条件を整理しているところであり、施設名及び具体的なスケジュールは今後これらをつめて行くと聞いております。

南口(駅前)の活性化策および商業施設誘致の可能性について、教えてください。

(回答/総務部長) 新住事業者としても商業施設の誘致に努めている状況ではありますが、昨今の厳しい社会情勢の中で、土地購入を前提とした事業進出を考える事業者は殆どいないのが現状です。このような状況を踏まえ、新住事業者としてはまず北口に平成 12 年度の開業を目標に暫定複合施設を作ろうとしています。(ぐんじコメント/南口にはまだ、何もできないということです。北口には今後、公団で一戸建ての建築を計画しておりますので印西市として人集めのために北口につくりたいとの意向が働いているようです。しかし、南口に現在多くの方が居住しておりますので、私は今後市を通じ公団等に働きかけをしてまいります。)

国道 464 号線沿いに分譲を開始した企業用地への問い合わせ状況、および市としての企業へのアプローチがあれば教えてください。

(回答/総務部長) 国道 464 号線沿いの業務用地については、カーディラーから立地についての問い合わせがありました。市としては、立地希望の新住事業者に企業の情報があれば、提供しているのが現状です。

(再質問)

また、ニュータウンの土地利用計画には当該地区には「千趣会」が進出してくることになっているがその状況は？すでにキャンセルされたのか？
さらに、現状、「牧の原地区」に唯一ある企業、「起亜研究所」の将来について
教えていただきたい。

(回答/総務部長) 千趣会については、事業の撤退、進出についても何も聞いていない。また、「起亜研究所」についても情報をもらっていないのでわからない。

<「ぐんじとしのり」のひとこと>

私は、市民の立場に立ち、どこどこに何ができ、この街が将来どのようなようになるかの情報を皆様に提供し、共に考えて参ります。また公団/企業庁主導のまちづくりを、居住者が行政とともに一緒に考えて行けるように(例えば住民参加のワークショップ(研究会)設立等)行政への提案を含め、努力をしてまいりますので、ご支援、ご協力を皆様にもよろしくお願い申し上げます。

定例会諸般のご報告

/9月定例会にて議事となった事案についてご報告します。

可決されました。

市道 00-026 号線（西の原ショッピングセンター南～松崎工業団地（予定）～県道千葉竜ヶ崎線）の改築作業に関わる、県企業庁との業務委託契約について

- 前回の定例会にて、市道予定地に、未収の土地があったため工事ができないと、市が議案の提出をとり下げた件ですが、今回は地権者との話し合いがまとまり、工事の実施が可能となりましたので、この度、議事を審議し、可決されました。

この市道 00-026 号線は平成 13 年度完成を目指し、事業をすすめてまいります。

設立されました

「印西市議会高校問題協議会」が 16 日(木曜日)に設立されました。この協議会では、今年度中に高校設置の要望を千葉県に提出し、高校誘致を実現する為に活動をして参ります。

意見書を提出しました

「オウム真理教の活動を制限し、
住民の平和な暮らしを守るため厳正なる措置を求める意見書」

政府においては、オウム真理教の活動を制限し、住民の平和な暮らしを守る為に、法を厳格に行使し、厳正なる措置を講じられるように強く要望するために、内閣総理大臣、法務大臣、自治大臣、警察庁長官 宛てに 地方自治法 99 条 2 項(*)の規定により意見書を提出しました。

(* 99 条 2 項(抄) / 議会は、地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を関係行政庁に提出することができる。)

鉄道問題を考える(1)

北総・公団線の高い運賃は、千葉ニュータウン住民の悩みの種となっています。そのため、去る 8 月 4 日には市民の要請をうけて、千葉ニュータウン 4 自治体の首長らが運輸大臣ほか関係機関へ運賃値下げの要請行動をとっているのは、「広報いんざい」等を通じて、皆様すでにご承知のことと思います。

この件については、一部の住民からは北総・公団線の膨大な借金（金利 4.8% / 鉄建公団からの長期末払い金）が原因であり、借り換えをできないかであるとか、住都公団の責任を追及すれば、運賃を下げられるのではないかという「妙案」がさも特効薬のようにささやかれております。

しかし、北総・公団線に対する本質的な議論を除外してこの問題の解決が図れるとは考えられないと思います。つまり、この鉄道の建設の背景や今後まちづくりを絡めての重要な議論をし、問題点を整理していく必要があるかと思います。言いかえると、北総・公団線の問題の本当の原因はどこにあり、根本的に解決を図らなければならない課題は何か？今、我々がすべき大事なこと、実現可能なことは何か、そしてその相手先はどこか？これらを運賃問題のみならず、利便性の問題、その他を含んで、皆様と共に考えて参りたいと思います。この鉄道問題は私の選挙公約の一つでありますので、政治活動の課題として掲げ活動してまいりますので、ご支援、ご協力頂ければ幸いです。（この項目は今後シリーズで取り上げてまいります。）